

沿岸底産物漁場調査

技手 当 間 新 誠

担当

技手 上 地 津 吉

1 調査概要

1. 期間 { 第一次 1963年 3月25日～30日
第二次 " 6月25日～30日
2. 海域 { 第一次 粟国島周辺 (調査漁場図別紙のとおり)
第二次 沖繩本島北部 (同上)
3. 使用船舶及乗組員 かもめ丸(5.95t-1.6HP)比嘉船長外2人。
4. 調査経過

- 第一次 { 3月25日 泊港発
3月27日～28日 粟国島真沿岸にて漁業試験実施
3月29日～海上大時化のため粟国港内で避泊
3月30日～泊港帰港
- 第二次 { 6月25日～泊港出港
6月26日～27日 今帰仁地先及び古宇利島西方で調査実施
6月28日～伊江島真側漁場で調査実施
6月29日～伊江島南側漁場で調査実施
6月30日 泊港帰港

5. 漁具 底産物、2鉢(構成は次表のとおり)

漁具一鉢の構成表

名称	品 質	規格	数 量	備 考
枠 罾	黒糸巻 鋼 線	φ37 3×3	500	20m 間に切断製作し、「サルカン」で25個接合したもの。
技 罾	ナイロン メッシュ	2分	80～ 100本	枠罾の内5m間隔に長さ75cmのものを取付けたもの。
釣 鈎	鋼 製	1寸8分 2寸3分	100+	タイ釣鈎
浮子罾	クレモナ	45cm× 2	2	長さは漁場水深に応じて調節使用した。
浮 子	硝子玉	9寸～ 1尺	2	
サルカン	真鍮製	規格 10号	25	

漁具設置圖



具調査結果

1. A調査一覧表

月日	漁場	投網始時刻	所要時間	水深	底質	水温	餌料	漁具数 釣針 2鉢 200本	魚種別漁獲高尾数										計	備考		
									ヒメダライ	ヤダライ	ヒメダライ	ヒメダライ	ヒメダライ	ヒメダライ	ヒメダライ	ヒメダライ	ヒメダライ	ヒメダライ			ヒメダライ	ヒメダライ
3.27	栗岡島西側沿岸	7:20~15:00	2h 15m	80m 98	R 00	19.9	冷凍サメ	2鉢 200本	5	1	1	1	3	1	3	1	3	14	7尾			
		10~15 12~00	1~4h	75 218	R 8h				1					7	1				14	7尾		
		12~10 14~15	0~0h	80 98	00 8h	20.0			2	1	1	1	1	2	1				9	尾	ヒメダライは大きい。	
		14~25 16~10	1~6h	105 100					4	1	4			2					11	尾	ヒメダライは大きい。 ヒメダライは大きい。 ヒメダライは大きい。	
3.27	栗岡島西側沿岸	16~80 19~40	1~1h	60 75	00 8h	19.9	冷凍サメ	2鉢 200本	2	2	2	2	2		1				7	尾		
3.28	栗岡島北東沿岸	7~65 9~50	1~0h	84 98		20.0		2鉢 180本			1	5	1	1					2	8	尾	
		9~40 11~15	1~3h	78 118					5	3												
		11~50 12~05	1~2h	70 90							1	2		2					10	尾	ヒメダライは大きい。	
		13~10 14~40	1~3h	83 90	8h 8										2	1			6	尾		
			1~3h																3	尾		

B 調査一覽表

月日	魚場	投網始時 投網終時	所要時間	水深	底質	水温	餌料	漁具 数量	魚種別漁獲高(尾数)					約 運 率	備 考	
									サ イ イ	ヒ メ イ イ	シ メ イ イ	ト シ イ イ	フ キ イ イ			メ ノ イ イ
6.26	今帰仁港 東約2港	8:30-10:40	2h-10m	14.6	cc bb	26.7	海胆 2鉢 サンゴ 200本 1.7		17	1			1	19	85%	ヒメイイは小さい
		10-07 13-15	2-0R			26.9			10		1			11	55%	
		14-38 16-52	2-14	13.7					0	1				10	5%	瀬掛り多くの枝網 の切損あり
6.27		6-30 11-00	2-50	19.7		26.5			1				1	2	1%	瀬掛り多し
		11-18 13-20	2-08			27.0			1					1	0.5%	あすなつ サンゴの断小物 あり
	古平利島 西方2.5港	14-25 17-00	2-55	21.3	f B							1		1	0.5%	
6.28	野南島 西方4港	09-00 10-45	1-45	58	cc	26.8							1	2	4.5%	
	伊東名島 西方4港	11-15 13-10	1-55	9.5	c B	27.0								1	0.5%	
		14-50 16-50	2-00	11.5	a M	26.8							5	4	2.0%	
6.29	伊江島 南約2港	8-40 10-55	2-15	7.5	cc	26.9							1	4	2.0%	瀬掛り多くの枝網 の切損多し
	伊江島 南約2港	11-25 13-25	2-00	7.5	cc								1	2	2.0%	瀬掛り多くの枝網 の切損多し
		14-57 16-50	1-48	11.7	a							1		1	0.5%	

2. 漁 獲

(栗田島西側)

海底は岩礁とサンゴ礁で、距離0.5徑位で400米の水深とまり、1徑内外で1000米以上の深さとまつている。深い層上は起伏が甚だしく、海や窪地が点在している。こゝでは操業3回行い調査したが使用釣鉤1000本で漁獲物はヘチ類10尾シロダイ10尾ヤチー9尾、ヘチフエダイ8尾、ヒノダイ7尾、フエダイ4尾、フカ4尾、玉目ダイ、ベラ、カワハギ各1尾で総漁獲高53尾で約獲率5.5多普通漁であった。

(栗田島北東側)

西側の地形とは随分異なり、水深が浅く、底質は砂及びサンゴ礁である。調査4回、使用釣鉤720本、ヘチ数7尾、大ヒノ5尾、フエダイ4尾、ヤチー5尾、白ダイ3尾、カンパチ2尾、フカ2尾で総漁獲高26尾で約獲率3.6多を示し、西側漁場よりも約2多も低かつた。

(今市仁地先漁場)

地先の200米範囲を6日に亘り調査したが、使用釣鉤1200本漁獲物はヤチー1尾、ヒノダイ37尾、シロダイ2尾、メバル2尾、小フカ2尾で総漁獲高44尾で約獲率は3.67多を示し、あまり良い漁況では無い。又漁獲物の大部分を占めるヒノダイの魚体は殆んど小魚であつた。

(伊是名島西方漁場)

200米範囲の水深58m~115mに亘り3回調査したが、漁獲物はシロダイ2尾、ヒラアジ2尾、フエダイ2尾、メバル8尾、の計14で総釣鉤600本、約獲率2.33多の低調振りであつた。

(伊江島南側漁場)

当漁場では3回調査したが、ヤチー1尾、シロダイ2尾、フエダイ2尾、メバル6尾の計11尾を釣獲したのみで約獲率は1.83多であつた。

3. 気象、海況 観測表

第一次

月日	観測位置	観測時刻	天気	雲量	風向	風力	気温 (°C)	水温 (°C)	波高	うねり	備考
3.27	栗田島西側	12h-00m	B	1	BB	2	19.5	20.2	2	1	
3.28	同島北東側	*	C	10	B	4	21.2	20.0	4	2	

第二次

月日	観測位置	観測時刻	天候	雲量	風向	風力	気温	水温	潮流	うねり	備考
6.25	安藤港外	14-20	B		SSSE	5	50.9	26.8			
	・ 残波岬	16-	B		SSSE	5	50.2	26.2			
6.26	本郷港外	7-00	B		SSSE	1	50.2	26.5			
	・ 今帰仁地先	12-00	B		SSSE	5	28.2	26.9			
6.27	・	12-00	BC		SE	1	27.5	27.0			
	・ 伊是名島東	18-50	B		SE	1	28.2	26.8			
6.28	河島西方	12-00	B		B	2	27.6	27.0			
6.29	伊江島南側	8-00	B		SSSE	2	28.0	26.9			
	・	15-15	C		SSSE	2	26.8	27.0			
6.30	既谷沖合	8-00	C		SSSE	2	27.0	26.4			

II 考察

調査結果からみた場合、各漁場共漁獲悪く、東国島西側漁場のみが5.5kgの漁獲で倍以上の漁獲は全く振わなかった。

このことはこれらの漁場が長年の過漁被害によって荒廃しつつあることを物語るものであると考ふる。

故に今は近くの浅いこれらの漁場では操業規制等によつて資源保護対策を講じなければ、これらの漁獲は益々減少し、枯渇するおそれもあると思われる。

又生産性を高めるためには深部にある未開発の漁場を調査し、マナコ等を対象とする漁業に、移行すると共に漁具改善工次による能率的操業を行うことが必要であろう。

月日	観測位置	観測時刻	天候	雲量	風向	風力	気温	水温	潮流	うねり	備考
6.25	安藤港外	14-20	B		SSSE	5	50.9	26.8			
	・ 残波岬	16-	B		SSSE	5	50.2	26.2			
6.26	本郷港外	7-00	B		SSSE	1	50.2	26.5			
	・ 今帰仁地先	12-00	B		SSSE	5	28.2	26.9			
6.27	・	12-00	BC		SE	1	27.5	27.0			
	・ 伊是名島東	18-50	B		SE	1	28.2	26.8			
6.28	河島西方	12-00	B		B	2	27.6	27.0			
6.29	伊江島南側	8-00	B		SSSE	2	28.0	26.9			
	・	15-15	C		SSSE	2	26.8	27.0			
6.30	既谷沖合	8-00	C		SSSE	2	27.0	26.4			

127°-20'E



20°-40'N



臺灣測基圖

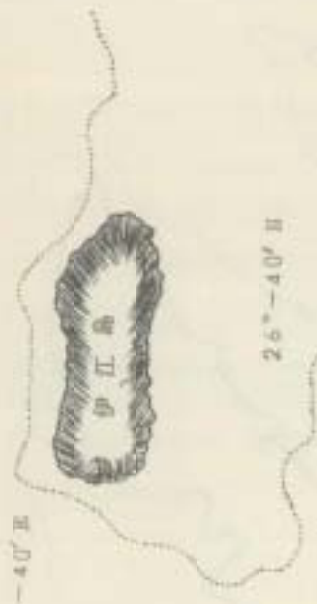
凡例

虛線為海岸試驗線

○ 新測光學元水準(米)

○ 200m等深線

127°-40'E



26°-40'N



317

495

544

415

566

290

766

395

416

115

255

373

534

402

468

504

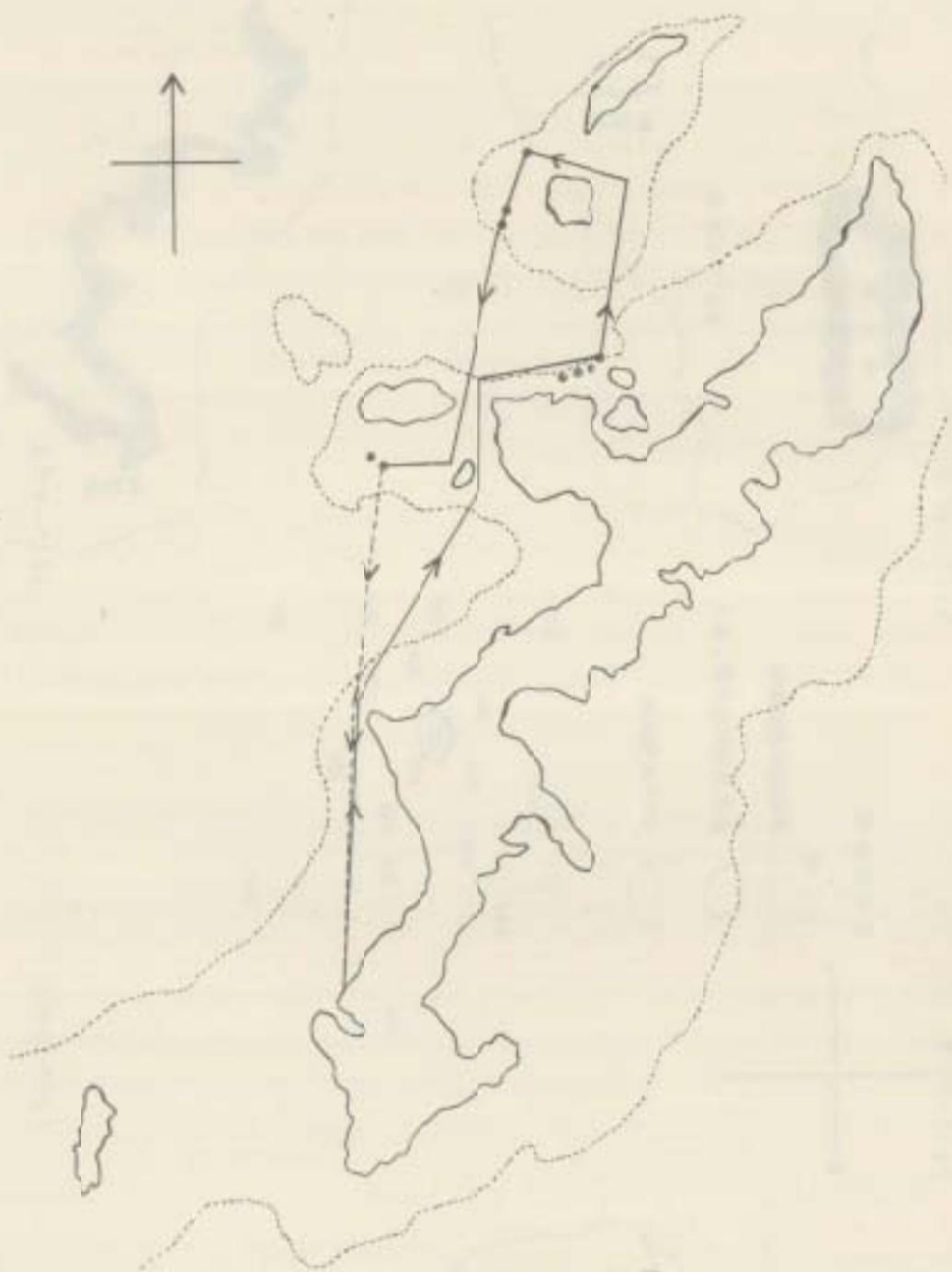
594

539



127°-40'E

127°-20'E



航跡圖及領場位置圖

凡例

——→	往航
- - - ->	復航
●	領場位置